

## 現代の高校生はどのような法知識・法意見を持っているのか (2) — 「2000人調査」を踏まえた質的調査の結果を受けて—

我々の研究グループでは、一昨年度から科学研究費補助金を獲得して、法知識・法意見を問う質問紙を開発し、高校生を対象として調査を行ってきた。その調査の途中経過については、昨年度実施した中間報告会で報告した次第である。本シンポジウムでは、昨年度段階の「1000人調査」から更に分析件数を積み増した「2000人調査」の結果について報告する。また、その調査結果を受けて、「法知識と法意見に乖離」が見られる「自白強要の禁止」「黙秘権」について、実験授業を行い、その実験授業を受けた生徒は、どのような「法知識と法意見」を持っていたのか、なぜ、そのような「法知識と法意見」を持っていたのか、授業を受けた生徒が授業前と授業後でどのような認識（知識と意見）の変容を見せたのか、について質的に調査した結果を明らかにする。本シンポジウムでは、これらの量的・質的調査の結果を受けて、今後、どのような法教育の授業展開が必要なのかについて、登壇者、コメンテーター、フロアーの皆様と考える良い機会になればと考えているので、ご関心のある方は是非ご参加頂ければ幸いです。

日時：2018年3月21日（水） 13:00 開場 13:30～16:30

場所：筑波大学東京キャンパス 120 講義室（〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1）

丸ノ内線茗荷谷（みょうがだに）駅下車「出口1」徒歩5分程度

以下、敬称略

総合司会 静岡大学教授 磯山恭子

13:00～ 開場・受付

13:30～13:40 研究の目的と研究の方法 福井大学教授 橋本康弘

13:40～14:20 研究成果報告（1）「2000人調査」の最終結果について

東京学芸大学研究員 小澤昌之 京都産業大学准教授 小山治

千葉大学准教授 佐伯昌彦 日本学術振興会特別研究員PD 橋場典子

14:20～15:20 研究成果報告（2）

実験授業「自白強要の禁止」「黙秘権」の授業の実際と調査分析の結果について

筑波大学教授 根本信義

川崎医療短期大学教授 中原朋生 東京学芸大学准教授 渡部竜也

亜細亜大学講師 三浦朋子 宮崎大学教授 吉村功太郎

15:20～15:35 休憩

15:35～15:50 コメンテーターによる意見陳述 日本体育大学教授 池野範男

15:50～16:20 質疑応答・討論：授業の「すがた」から見える今後の法教育のあり方  
《ファシリテーター》 京都大学教授 土井真一 福井大学教授 橋本康弘

16:20～16:25 全体総括 岡山大学教授 桑原敏典

16:25～16:30 研究代表者挨拶 福井大学教授 橋本康弘

定員：50名（事前申し込み必要）

参加料：無料

主催：法に関する教育教材開発研究会

後援：法と教育学会

申込先・問い合わせ先：福井大学教育学部 橋本康弘

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学教育学部

E-Mail [yhasimot@u-fukui.ac.jp](mailto:yhasimot@u-fukui.ac.jp) TEL/FAX(0776)27-8449

※本シンポジウムは、科学研究費補助金基盤研究（B）一般 研究課題 現代中・高生の「法認識」の実態に挑戦する法教育プログラムの開発 を受け、実施するものです。